

平成27年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月10日

上場会社名 竹本容器株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4248 URL http://www.takemotokk.co.jp/
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹本 笑子
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 管理部門統括 兼 経営企画室長(氏名) 戸田 琢哉 (TEL) 03(3845)6107
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第3四半期の連結業績(平成27年1月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第3四半期	9,118	8.6	991	25.2	997	25.9	667	29.9
26年12月期第3四半期	8,396	—	791	—	792	—	514	—

(注) 包括利益 27年12月期第3四半期 607百万円(7.8%) 26年12月期第3四半期 564百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第3四半期	117.52	—
26年12月期第3四半期	100.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第3四半期	10,507	5,509	52.4
26年12月期	10,107	5,077	50.2

(参考) 自己資本 27年12月期第3四半期 5,509百万円 26年12月期 5,077百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	0.00	—	19.00	19.00
27年12月期	—	12.00	—	—	—
27年12月期(予想)	—	—	—	16.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,199	10.3	1,177	34.2	1,173	33.4	780	34.2	137.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年12月期3Q	5,682,200株	26年12月期	5,682,200株
② 期末自己株式数	27年12月期3Q	一株	26年12月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年12月期3Q	5,682,200株	26年12月期3Q	5,124,700株

(注)当社は、平成26年9月12日付で普通株式1株につき10株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2頁「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成27年1月1日～平成27年9月30日)におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融政策を背景として企業収益や雇用環境の改善がみられ、引き続き緩やかな景気回復基調で推移しましたが、期末にかけて中国での景気減速感が明らかとなり、先行きが不透明な状況も続いております。

このような状況において、当社グループは開発提案型ボトルパッケージングメーカーとして自社で容器の企画、設計を行い、容器を製造するための金型を自社で保有している、いわゆるスタンダードボトルを軸としてお客様が必要とする容器を必要な数だけ提供する営業活動、並びにお客様が金型投資を行うカスタムボトルの分野では当社スタンダードボトルの開発実績を生かした提案活動を積極的に展開してまいりました。

また、製品開発・供給面では日本、中国の双方において、新製品開発力の強化を目指し金型開発体制の整備を進め、平成27年9月末のスタンダードボトル用金型数を2,823型とするとともに、お客様からの納期要望や製品品質向上に応える生産体制並びに社内検査体制の強化など、総合的な製品供給能力の向上を図る施策を実施してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は91億18百万円(前年同期比8.6%増)、営業利益は9億91百万円(前年同期比25.2%増)、経常利益は9億97百万円(前年同期比25.9%増)、四半期純利益は6億67百万円(前年同期比29.9%増)となりました。

なお、当社グループは、容器事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていません。

また、販売先主要事業内容ごとの販売実績売上高は次のとおりです。

区分	前第3四半期 連結累計期間 売上高(千円)	当第3四半期 連結累計期間 売上高(千円)	増減(比率)
化粧・美容	4,904,090	5,318,660	8.5%
日用・雑貨	547,078	413,903	△24.3%
食品・健康食品	739,506	744,276	0.6%
化学・医薬	384,124	442,959	15.3%
卸、その他	1,821,242	2,198,604	20.7%
計	8,396,041	9,118,405	8.6%

(注) 1. 上記の区分は当社グループの販売品目である容器類について、販売先の主要事業内容により分類したものであります。販売先における容器等の用途と上記区分名称は異なる場合があります。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末と比較して3億99百万円増加の105億7百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比較して42百万円減少の51億95百万円となりました。主な変動要因は、現金及び預金が4億43百万円減少、受取手形及び売掛金が3億26百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して4億42百万円増加の53億12百万円となりました。主な変動要因は、建物及び構築物が4億3百万円増加、機械装置及び運搬具が2億48百万円増加したことによるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末と比較して1億83百万円減少の31億64百万円となりました。主な変動要因は、支払手形及び買掛金が2億10百万円増加、1年内返済予定の長期借入金が93百万円減少したことと、「その他」のうちの設備支払手形が1億48百万円減少、未払金が92百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して1億51百万円増加の18億33百万円となりました。主な変動要因は、長期借入金が1億52百万円増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して4億31百万円増加の55億9百万円となりました。主な変動要因は、四半期純利益計上による利益剰余金が6億67百万円増加、剰余金の配当が1億76百万円であったこと及び為替換算調整勘定が59百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年12月期通期の連結業績予想につきましては、前回予想(平成27年2月13日)から修正しております。

詳細につきましては、本日公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

平成27年9月16日にTakemoto Netherlands B.V.を新規設立し、第3四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。なお、同社は、特定子会社の異動には該当していません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

当社及び国内連結子会社では、有形固定資産(平成10年4月1日以降に取得した建物を除く)の減価償却方法について、従来は定率法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

当社グループでは、平成27年度を初年度とする中期経営計画において、少量多品種、短納期に対するニーズやコスト要求、品質要求に応えるため、ジェイ・トム事業所の新工場建設及び生産体制の整理等による生産ラインを効率化する投資を計画しております。これを契機に、自社の有形固定資産の利用状況を検討いたしました。

これまでの施策により内製化が一定水準まで進み、安定的な稼働が行える段階に達しつつあり、今後の投資により歩留まり並びに稼働率は改善し、安定的な生産が見込まれています。また、供給に関しては協力メーカーとの良好な関係を維持して製品供給を行い、自社の工場の稼働は適正な生産水準を維持することを計画しております。

この結果、工場設備及び機械装置等は安定的な生産水準のもと、平均的に使用されるものであり、減価償却の方法についても、使用期間にわたり費用を均等配分する定額法を採用することで、経済実態をより適切に反映すると判断し、第1四半期連結会計期間において定額法に変更いたしました。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ151,850千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,863,469	1,419,626
受取手形及び売掛金	2,413,744	2,740,681
商品及び製品	613,543	656,049
仕掛品	30,485	31,592
原材料及び貯蔵品	199,177	201,293
その他	118,250	146,988
貸倒引当金	△1,019	△1,069
流動資産合計	5,237,651	5,195,163
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,543,737	1,947,409
機械装置及び運搬具(純額)	1,088,096	1,336,993
その他(純額)	1,804,476	1,558,092
有形固定資産合計	4,436,310	4,842,495
無形固定資産		
投資その他の資産	250,453	256,564
その他	183,418	212,981
貸倒引当金	△196	—
投資その他の資産合計	183,221	212,981
固定資産合計	4,869,984	5,312,041
資産合計	10,107,636	10,507,205

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,564,504	1,774,772
1年内返済予定の長期借入金	636,523	542,804
未払法人税等	202,238	176,560
その他	945,177	670,586
流動負債合計	3,348,442	3,164,723
固定負債		
長期借入金	1,443,263	1,596,025
退職給付に係る負債	203,022	215,736
資産除去債務	21,281	21,510
その他	14,214	—
固定負債合計	1,681,781	1,833,272
負債合計	5,030,224	4,997,995
純資産の部		
株主資本		
資本金	332,059	332,059
資本剰余金	558,860	558,860
利益剰余金	3,417,462	3,909,081
株主資本合計	4,308,382	4,800,000
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,955	1,646
為替換算調整勘定	776,625	716,825
退職給付に係る調整累計額	△9,551	△9,263
その他の包括利益累計額合計	769,029	709,208
純資産合計	5,077,411	5,509,209
負債純資産合計	10,107,636	10,507,205

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
売上高	8,396,041	9,118,405
売上原価	5,858,255	6,230,294
売上総利益	2,537,785	2,888,110
販売費及び一般管理費	1,746,112	1,896,852
営業利益	791,673	991,257
営業外収益		
受取利息	4,770	5,504
受取配当金	215	144
為替差益	546	—
助成金収入	7,878	4,561
その他	6,535	11,586
営業外収益合計	19,946	21,796
営業外費用		
支払利息	17,854	14,390
為替差損	—	946
その他	1,515	296
営業外費用合計	19,370	15,633
経常利益	792,249	997,421
特別利益		
固定資産売却益	5	324
投資有価証券売却益	12,499	—
特別利益合計	12,504	324
特別損失		
固定資産売却損	1,456	2,678
固定資産除却損	1,946	10,749
特別損失合計	3,402	13,427
税金等調整前四半期純利益	801,351	984,317
法人税、住民税及び事業税	302,917	347,726
法人税等調整額	△15,741	△31,175
法人税等合計	287,176	316,550
少数株主損益調整前四半期純利益	514,174	667,766
四半期純利益	514,174	667,766

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	514,174	667,766
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,626	△309
為替換算調整勘定	59,209	△59,800
退職給付に係る調整額	321	288
その他の包括利益合計	49,904	△59,820
四半期包括利益	564,078	607,945
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	564,078	607,945

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。